

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際芸術フェスティバル支援事業		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度		担当課室	長官官房国際課		国際課長 佐藤 透		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国で開催される中核的な国際芸術フェスティバルへの重点的支援による文化芸術の世界的拠点の育成を通じ、文化創造と国際的発信の拠点作りを推進し、我が国の文化芸術の水準向上を図るとともに海外への情報発信を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国で開催される中核的な国際芸術フェスティバル(映画)に対し戦略的かつ重点的並びに継続的に支援を行う。 ※東アジア文化芸術会議(東アジア共生会議)は「東アジア文化交流推進プロジェクト事業」へ、文化芸術の海外発信拠点形成事業は「文化芸術の海外発信拠点形成事業」へ行政事業レビューシート事業単位を変更。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		512	80	70	-	
		繰越し等		-	-	-	-	
		計		512	80	70	-	
	執行額			508	80			
	執行率(%)			99.3%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、国の継続的な支援により、将来に向けて文化創造と国際的発信の拠点づくりを推進すること目的としており、成果がすぐに現れないことから、定量的な指標を設定することは困難である。			成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	当該年度の対象事業数			活動実績 (当初見込み)	件		2 (2)	1 (1)
単位当たりコスト	80(百万円/1団体)			算出根拠	執行額80百万円/1団体			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.02 百万円	-	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。				
	文化芸術振興費補助金	70 百万円	-					
計	70 百万円	-						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本の中核的な国際芸術フェスティバルに限定した支援事業であり、我が国の文化芸術の海外発信拠点形成を図るために、国が実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業の支出先は補助金交付要綱で定める日本の中核的な国際芸術フェスティバルに限定している。また、補助対象費目も補助金交付要綱に定め、文化政策上の意義から事業実施に必要な経費に限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	補助金の交付決定にあたっては、過去の決算額を基礎とし、必要経費の算出を行っている。経済産業省や地方自治体との政策目標や役割分担を踏まえ、文化庁は文化政策上の意義から効率的かつ効果的な執行を行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	上記、評価に関する説明にも記載したとおり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保している。国庫支出のあり方についても、収支報告にあわせ証ひょう関係書類の提出を求め、その内容の突合を行うことで適正性を担保している。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業全体の改善の抜本的	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、我が国の文化芸術の水準向上及び海外への情報発信の強化を目的に、我が国で開催される中核的な国際芸術祭等への補助を実施するものであり、補助対象事業の有益性、有効性、効率性の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：補助対象費目などの経費区分の妥当性、経理の適正性を確保するよう引き続き取り組むほか、他の芸術分野や海外国際フェスティバルへの参加等の取組との連携強化を通じて事業効果を相乗的に高め、国際発信力を一層強化する観点から、事業統合等を図るべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃止	本事業については、他の芸術分野や海外国際フェスティバルへの参加等の取組との連携強化を通じて事業効果を相乗的に高め、国際発信力を一層強化する観点から他事業との統合を図り、概算要求に▲70百万円反映した。					
備考						
文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) <a href="http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html">http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</a>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	新23-0086	平成24年	0431

※平成24年度実績を記入。

文化庁  
80百万円

・職員旅費 0.05百万円を含む

我が国で開催される中核的な国際芸術フェスティバル(現代美術及び映画)に対し戦略的かつ重点的並びに継続的に支援を行う。



【補助】

公益財団法人  
ユニジャパン  
80百万円

映画(国際映画祭):東京国際映画祭を実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.公益財団法人ユニジャパン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場費	会場使用料、会場設備費	30			
文芸費	演出料、翻訳料、字幕制作費、著作権使用料	28			
上映費	映写機材費、映写技師費	15			
出演費	司会者出演料、通訳料	5			
招へい旅費	航空運賃、宿泊費、シンポジウム出演料	1			
作品借料	作品借料、保険料、通関費	1			
運搬費	作品輸送料金	0.5			
計		80	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人ユニジャパン	「第24回東京国際映画祭」開催業務	80	—	—

※補助事業であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている